第１３５回　維持管理研究会　議事録

1．開催日時　：　２０２２年１０月２０日（木）１６：００～１７：３０

2．場　　所　：　Zoom リモート開催

3．出席者（敬称略）

井上、上辻、大下、坂本、澤田、守護、高橋、千葉、日向、柳本、山下、中谷（記）

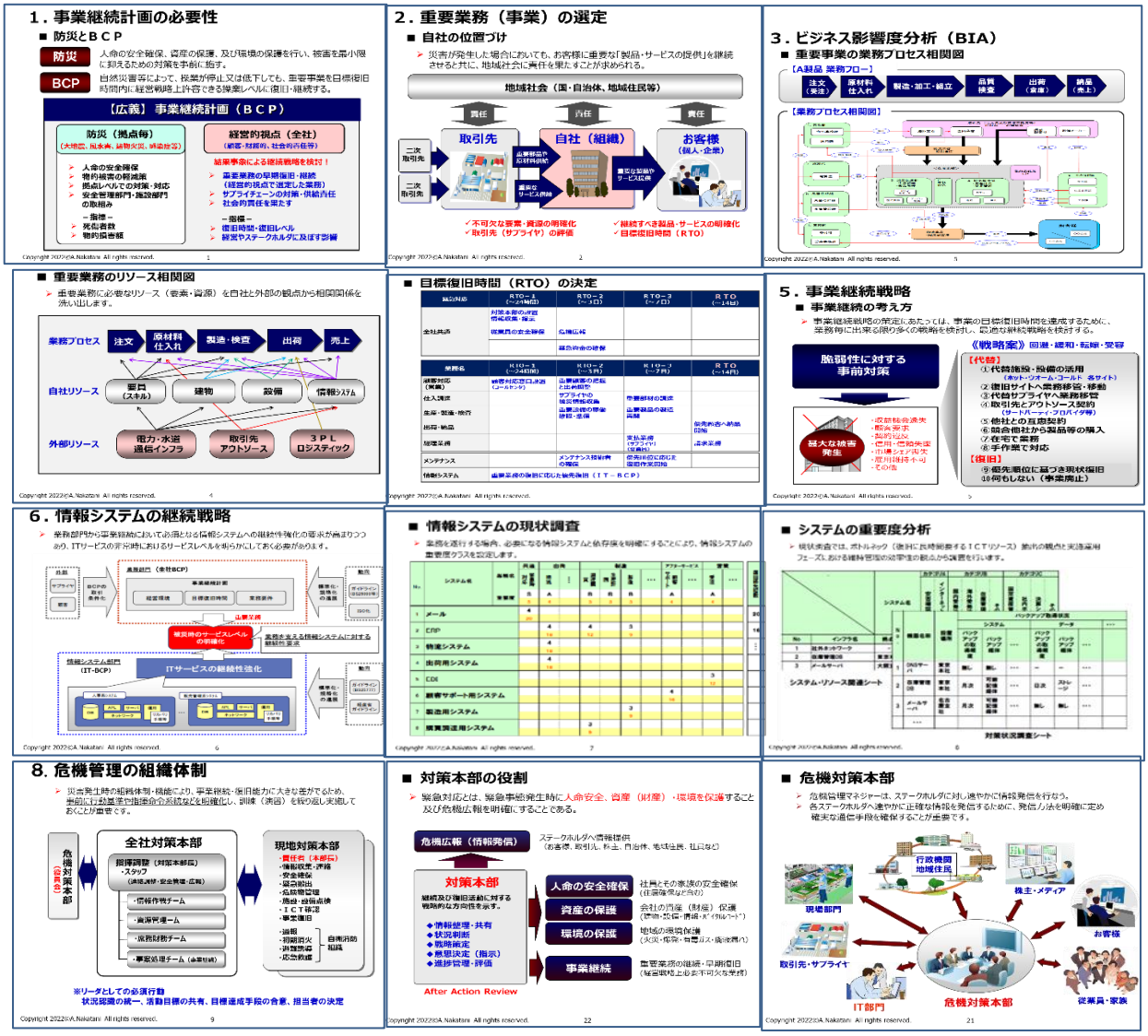
（１２名 参加）

4．研究テーマ

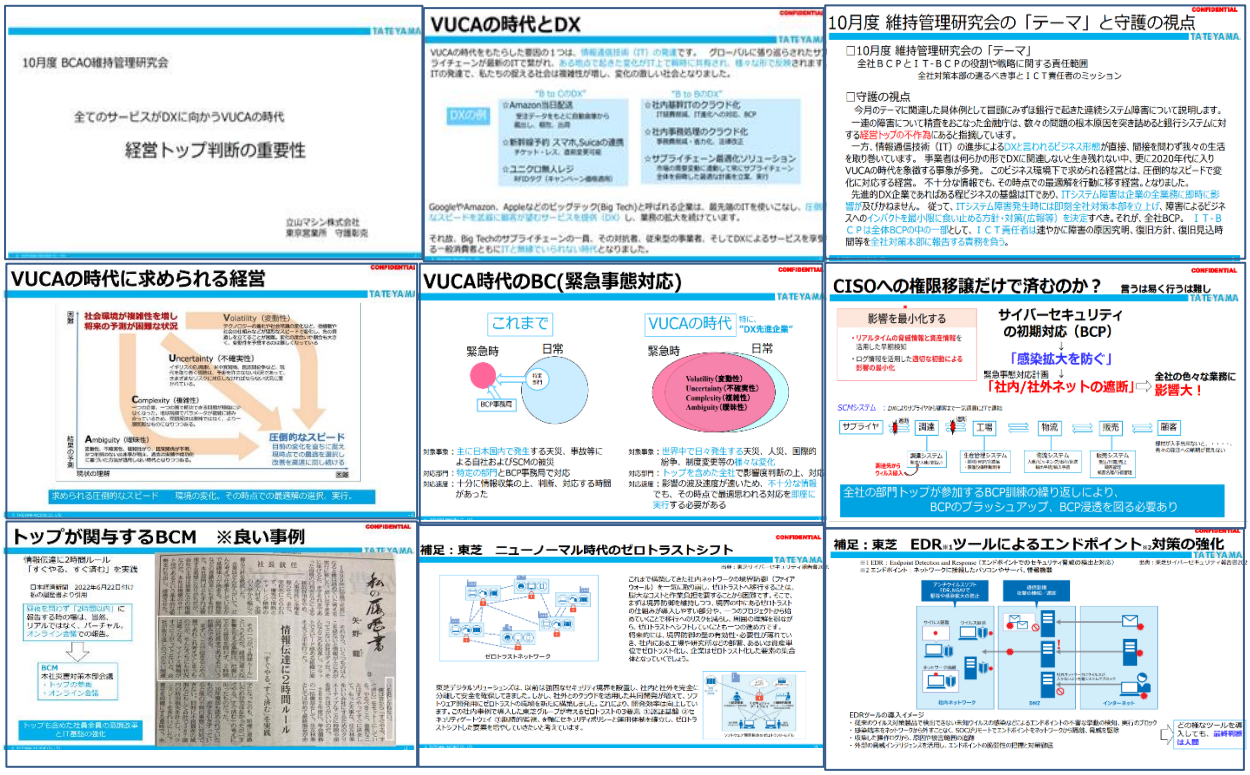
今月の維持管理研究会は、最近ＤＸ化の推進によりＩＴ依存度が更に高くなっているなかで、自然災害によるＩＣＴ停止のみならず、サイバー攻撃によるＩＣＴ停止や金銭要求なども増加している。

そこで今回は、全社ＢＣＰとＩＴ-ＢＣＰの役割や戦略に関する責任範囲などについて議論した。

中谷（全社対策本部の遣るべき事とＩＣＴ責任者のミッション）抜粋



守護（VUCA 時代の経営トップ判断の重要性）抜粋



５．意見交換（感想など）

緊急事態発生時の経営トップの立ち位置やあるべき姿が議論の中心となった。

＜中小規模＞

全社対策本部では、経営トップが責任者となり、リーダシップを発揮して具体的な指示をすべきである。

＜中堅・大企業＞

全社対策本部に経営トップは参加せず、緊急対応はリスク責任者に任せる。緊急対応マニアルに従い判断・指示し、記載のない事象のみ経営トップに相談する。（２・８理論）

経営トップの主業務は、現状を客観的に把握し、将来を見据えた経営戦略を検討すべきである。

ＩＣＴ無くしては、企業として何も出来なくなっている現状においては、ＩＴ部門は、全社対策本部責任者の直轄組織として、全社ＢＣＰの優先順位（ＲＴＯ）に準じた復旧対応に徹することが重要である。

＜次回予定＞

・２０２２年　１１月　１７日（木）16:00～17:30

以上